

私保協ニュース

(No. 34 令和5年6月9日号)

特集号

去る5月31日（水）にヒルトン広島において開催した当協会の令和5年度の定時社員総会と施設長部会の状況を報告します。

※この度の総会で役員の改選がありましたが、以下の文中では各時点の職名で紹介しています。

【追加】

本日、正副理事長が広島市役所を表敬訪問しましたので、併せてご報告します。

I 定時社員総会

当日は、午後から長雨が一時上がり、晴れ間が見える良い天気にも恵まれました。

定時社員総会は平成元年度以来4年ぶりに対面で開催され、ヒルトン広島2階の「太田川B」で午後4時から、100名の会員がスクール形式で着席し、正面に尾崎議長（さくら保育所園長）と4名の正副理事長が控える中、龍永理事（ロータスプリスクール西原園長）の司会で開会されました。



第1号議案の「令和4年度事業報告について」では、各正副理事長から所管する各部・委員会の昨年度の事業の報告があり、松尾理事長が1年間の活動の総括を行いました。総括の要旨は、

- ・ 新型コロナウイルス感染症が感染拡大と縮小を繰り返す中、各部委員会においても様々な工夫で取り組んできたこと、
- ・ 研修事業は開催と、コロナの感染状況を鑑みながら開催方法を使い分けてきたが、自園で研修を受講することができるオンライン・ハイブリッド研修は大変助かったという声があり、今後は、対面研修を基本とするものの、研修目的に応じて研修体制を考えていく必要があること、
- ・ 研修内容については、往還型の研修を引き続き実践し、より学びを深めた結果、保育の質向上とともに、「子ども主体の保育」の実践へとつなげていくことができたこと、
- ・ 広島市の中期計画として施行された「広島市幼児教育・保育ビジョン実施方針」では、「今後の幼児教育・保育の需要の減少については、・・・公立園の定員削減・統廃合により対応することを基本とする」と明記され、実際に、公立園1園の廃止が決定するとともに、公立園の3歳以上児の全体定員を令和4年4月1日に402名、令和5年4月1日に26名、それぞれ削減されるなど、着実にビジョンが遂行していること、
- ・ 最後に、令和4年度は、急速な少子化と保育者確保対策に向けて、着実に一步を踏み出した一年となったこと、引き続き、令和5年度も、会員の皆様の声を大切にしながら、我々保育施設が中心とな

って「こどもまんなか」社会を実現していくとともに、保育施設への振興対策を中心に、様々な事業に取り組んでいくことをお約束すること、と結ばれました。

次の、第2号議案「令和4年度決算並びに監査報告について」では、高蔵副理事長より一般会計等の収支決算書の説明と、龍山監事より監査報告が行われました。

この後、議決が行われ、両議案とも賛成多数で議決され、総会の承認をいただきました。

第3号議案「役員改選」では、今年3月27日の臨時社員総会後に開催したブロック別分散会において9名のブロック選出理事候補者が選出されたこと、その後、理事選考委員会を設置して理事選考委員会選出理事5名を選出したこと、そして4月18日と5月23日に開催した理事会で、監事候補者2名を含めて理事会としての承認をし、総会に議案として提出した経緯等の説明がありました。

この後、議案は賛成多数で議決され、新理事は総会の承認をいただいたので直ちに第1回目の理事会を開催して各自の職務分担を次のように決定しました。

- 理事長 福島ニール圭治
- 副理事長 松尾 竜、高蔵浩亮、伊藤唯道、龍永直記、
- 理事
 - ① 総務部長 高蔵浩亮
 - ② 総務委員長 龍永直記
 - ③ 総務副委員長 住田芳代
 - ④ 広報委員長 武田修子
 - ⑤ 広報副委員長 上蘭 陽
 - ⑥ 会計担当理事 高蔵浩亮
 - ⑦ 予算対策部長 松尾 竜
 - ⑧ 研修部長 伊藤唯道
 - ⑨ 研修委員長 紀本恵美
 - ⑩ 研修副委員長 吉岡丹美、上蘭 陽
 - ⑪ 調査研究部長 福島ニール圭治
 - ⑫ 調査研究委員長 窪田普治
 - ⑬ 調査研究副委員長 吉田邦子
 - ⑭ 特別部会 認定こども園委員会担当理事 伊藤唯道
 - ⑮ 人材確保・育成担当理事 渡部千絵
 - ⑯ 人材確保・育成副担当理事 坂本智恵
 - ⑰ 事業部担当、小規模・事業所内委員会担当理事 窪田普治



今後2年間は福島新理事長の下、上記の態勢で協会の執行部を務めてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

以上の議案審議と協会事業の説明を済ませた後、伊藤副理事長が閉会のご挨拶をして、午後5時50分に定時社員総会を滞りなく終了しました。

II 施設長部会

施設長部会は同じく4年ぶりの開催、しかもヒルトン広島での開催とあって、これまた100名を超える会員が参加され、旧交を温められました。

司会は当協会理事で、南区の広島和光園保育所園長の吉田邦子先生に無理をお願いしましたが、「初めての大役」とは思えない、なめらかな優しいタッチで進めていただきました。



来賓には、ご本人のたつての希望ということで松井一實市長さんを代表でお招きしていましたが、当日、急な東京出張が入りやむなく欠席ということになりました。「又の日」を楽しみにお待ちしております。

代わってご出席いただいた ^{すすめ} ^{けんいち} 前 健一副市長さんには初のご参加にも拘わらず、気さくな人柄で皆さんと楽しく交流していただきました。市長さんともども、私保協の強力なファンになっていただけるものと確信いたしました。前副市長さん、どうもありがとうございました。

来賓はこのほか、広島市こども未来局の森川伸江局長さん、同じく保育指導課から山崎俊治課長さん、阪谷文子課長補佐さん、中東芳文主査（整備担当）、そして西村亜沙美主査（入所担当）の計5名の方々にお越しいただきました。



開催行事は、福島新理事長の挨拶で始まりました。

手に折り込んだ紙を持って登場されたため、皆、読み上げの原稿かと思いましたが、紙を目の高さに広げられると、何と「緊張」と大きな文字が書いてあるではありませんか。一瞬の間を置いて、皆大爆笑です。

挨拶の中身とともに、新理事長のそうした心遣いに感心させられ、場の空気が一度に和らいだ場面でした。





次に、理事長の重責を5期10年間に亘って務めていただいた松尾前理事長より退任の挨拶がありました。当協会を一般社団法人に格上げしたこと、全私保連で保育界の要望を国に伝えて実現してもらうため、最低でも月に4回は上京してきたこと、コロナの初期段階で広島市の保育士等にワクチンの優先接種を訴えて実現したこと、集中豪雨で保育施設が大きな被害を受け、再開に向けて努力したことなど、役員と共に考え、行動してきた苦勞話を聞かせていただきました。

どうかこれからも変わらず、お力をお貸し下さいますようお願いいたします。

その後は恒例の施設長退任者と新任者の紹介がありました。

今年の3月末の退任者は計8名で、うち施設長部会にご出席されたみみょう保育園の松尾前園長と五日市すみれこども園の築地前園長にご登壇いただき、当協会の渡部理事と坂本理事より花束を贈呈しました。お疲れ様でした。

また、4月1日の新任者は計12名で、このうち7名の施設長にご出席いただきました。今後ともよろしくをお願いいたします。



次に、当協会が一般社団法人になる前からの初代理事長で、現在は社会福祉法人^{みみょう}微妙福祉教育研究機構会長の^{まつおりゆういち}松尾龍一先生のご発声により、皆さんでグラスを掲げて乾杯し、歓談へと進みました。



歓談の途中で保育所まこと学園の^{ひがしまさちか}東岸昌真副園長が飛び入りでカンツォーネのオーソレミオを独唱され、その力強いテノールで皆さんを圧倒し、魅了しました。聞くところによると名指導者に師事され、国内の大会を勝ち抜いて3位入賞を果たされた経歴をお持ちとか。大歓迎の一幕でした。

楽しい歓談の最中でしたが、予定の時刻が迫ってきたため、最後に当協会の高蔵浩亮副理事長が閉会の挨拶を行い、施設長部会を滞りなく終了することができました。

ご出席いただいた皆様には誠にありがとうございました。

また、今回ご都合がつかなかった皆様には、次回は是非ともご出席賜りますようお願いいたします。



Ⅲ 広島市役所の表敬訪問

本日、正副理事長が広島市役所を訪問し、松井市長さん、^{すすめ}前副市長さん、森川こども未来局長さんほか幹部の方にお会いして、施設長部会へご出席いただいたお礼と役員改選のご挨拶をしました。

市長さんと副市長さんが揃って表敬を受けていただくことは数少ないことだそうで、正副理事長から先日のG7広島サミットでのご活躍をねぎらうとともに、11月に予定している「大忘年会」への出席を併せてお願いしました。



左から、高蔵副理事長、松尾副理事長、福島理事長、松井市長、前副市長、伊藤副理事長、龍永副理事長の皆さん